

日本産ツクシアカツツジ節の再検

初 島 住 彦*

A Revision of the *Rhododendron*: sect. *Sciadorhodon* from Japan

Sumihiko HATUSIMA*

日本のツクシアカツツジ節のものは葉が倒卵形で枝端に 5~6 個出るシロヤシオと葉が菱形で枝端に 2~3 個出る群に大別出来る。

後者はその花が葉が出た後または葉と同時に出るツクシアカツツジ群と花が葉の出る前に出るミツバツツジ群に更に区別出来る。ミツバツツジ群は更にまた大きく 2 分出来そうである。その一つはミツバツツジ、トサノミツバツツジ、タカクマミツバツツジ、ウラジロミツバツツジ、ナンゴクミツバツツジ、キヨスミツバツツジなどを含むいわゆる狭義のミツバツツジ群でこの群のものはコバノミツバツツジ、サイゴクミツバツツジ、ダイセンミツバツツジ、トウゴクミツバツツジなどを含むいわゆるコバノミツバツツジ群のものとは葉が一般にやや薄く下面には毛がないかまたは少ないこと、子房に腺が発達しやすいなどの点で区別出来るようである。このうちコバノミツバツツジ群のものは互によく似ていて僅かな差で区別出来るもので中間型のものでは区別が容易でないことがある。

日本産のツクシアカツツジ節に属する種類としては従来シロヤシオ、ミツバツツジ、トサノミツバツツジ、キヨスミツバツツジ、サイゴクミツバツツジ、ダイセンミツバツツジ、コバノミツバツツジ、タカクマミツバツツジ、ナンゴクミツバツツジ、トウゴクミツバツツジ、ツクシアカツツジ、ジングウツツジ、アマギツツジの 12 種が認められていたが筆者は以前から果してかかる多数の種があるのか疑問に思っていたので今回全種類について比較検討した結果結局日本には種としては 4 種しか産しないとの結論に達した。シロヤシオは非常にはっきりした種類であるのでこれは除くとしてその他の種類について述べて見たい。

いま従来種の区別に使用されていた特長が果して分類拠点として十分であるかどうかについて吟味してみたい。

まず子房に腺だけを有し毛を有しないものとしてミツバツツジ、トサノミツバツツジ、タカクマミツバツツジの 3 種が知られている。しかしこの特長は決定的のものでなく 3 種とも腺の外に剛毛を混入した型を有する。

すなわちミツバツツジにはケミツバツツジ (f. *lasiocarpum* Hats.), トサノミツバツツジにはアワノミツバツツジ (f. *lasiocarpum* Hara), タカクマミツバツツジにはアラゲタカクマミツバツツジ (f. *lasiocarpum* Hats.) などがある。またタカクマミツバツツジとナンゴクミツバツツジは子房を見なければ全く区別出来ない点から見ても子房における腺の有無があまり重要な特長でないことが判る。キヨスミツバツツジも子房に腺と剛毛を有しアワノミツバツツジに近づいてくる。

次に雄蕊の数であるがミツバツツジは普通 5 本雄蕊でトサノミツバツツジは 10 本雄蕊である。10 本の場合は 5 本が長く残りの 5 本は長さ半長位に退化している。しかしトサノミツバツツジにも時として 5~6 本雄蕊のものが見られるから(紀州: 那智, 倉田悟 2330, 大隅: 大根占, 富山

* 鹿児島大学農学部 Facult. Agric., Kagoshima Univ.

重義, 14/III, 1950) 雄蕊の数も決定的なものでなくミツバツツジとトサノミツバツツジの区別は葉の表面に腺だけがあるか毛だけがあるかになり両種を別種とするには一寸無理がありやはり牧野博士が最初考えられたように変種が妥当と考える。元来ツツジ科植物の場合花柱や、萼片、花梗、花枝、葉面などの腺または腺毛のあるなしや多少は極めて変化が多く分類拠点としては多くの場合品種以上の価値はないと筆者は考えている。

以下日本産の各種について論じて見たい。

シロヤシオ (ゴヨウツツジ) (*R. quinquefolium* Biss. et Moore) これは奥羽地方から太平洋岸を南下し南は近畿南部から四国まで分布する。

ミツバツツジ群

ミツバツツジ (*R. dilatatum* Miq.) これは子房と葉の上面に腺だけを有し毛を有しないことと雄蕊が5本である点で外の種類と容易に区別出来る。分布は関東、中山、東海、近畿となっている。本種の子房に腺の外に粗毛のある型は**ケミツバツツジ** (f. *lasiocarpum* Hats.) で本州に知られている。

トサノミツバツツジ (var. *decandrum* Mak.) は従来別種とされていたが前記の理由によりミツバツツジの変種とする。分布は紀州、四国、南九州。トサノミツバツツジの変種としてウラゲトサノミツバツツジ (var. *pilosum* Hara) というのがあるが南九州産のものはみな秋まで毛が多数残る型で基本種が果して無毛型かどうかタイプを見たことがないのでよく判らないがむしろ有毛型が普通ではないかと思う。子房に腺の外に粗毛のある型は**アワノミツバツツジ** (f. *lasiocarpum* Hats.) で四国に知られている。また白花品は**シロバナトサノミツバツツジ** (f. *albiflorum* Hats.) で四国にある。

タカクマミツバツツジ (var. *viscistylum* Hats.) これは従来別種として取扱われていたがミツバツツジの一変種と考えたい。一番近いのはトサノミツバツツジであるが、葉と花が一般に小さいので区別出来る。これは大隅と日向に分布する。ナンゴクミツバツツジ (var. *viscistylum* subv. *mayebarae* Hats.) はタカクマミツバツツジの子房に粗毛が密生した型であるが、剛毛が少なくなり腺と剛毛を混生した中間型がありこれを**ケタカクマミツバツツジ** (f. *lasiocarpum* Hats.) とする。従って花、実がなければ両者の区別は不可能である。よってナンゴクミツバツツジを亜変種とした。ナンゴクミツバツツジの白花品は肥後球磨郡黒原山の頂上にありこれを**シロバナナンゴクミツバツツジ** (f. *albiflorum* Hats.) とする。

ウラジロミツバツツジ (var. *glaucum* Hats.) これは今度新変種としたもので非常に特長のあるミツバツツジの一種である。最も近いのはタカクマミツバツツジであるが葉の下面は粉白色で短い腺毛を散布している。花芽は著しく粘り、子房は無毛で腺を密布している。花はコバノミツバツツジより色うすく淡紅色である。これは日向の尾鈴山から九大農学部宮崎演習林のある椎葉村大河内の三方嶽方面までの海拔 1,000~1,300 m の尾根筋の森林内に限られている。

キヨスミミツバツツジ (var. *kiyosumiense* Hats.) これは従来独立種と考えられていたが、コバノミツバツツジ群よりミツバツツジに近縁であるのでミツバツツジの一変種としたい。

コバノミツバツツジ群 これに属するものはトウゴクミツバツツジ、コバノミツバツツジ、ダイセンミツバツツジ、サイゴクミツバツツジの4種であるが、この4種は互いに非常に似ておって種を分つ程の特長はない。従って今回はこれら4種は1種にまとめ種名としては一番古いコバノミツバツツジを起用し他は全部その変種とした。上記の4種の内一番はっきりしているのは**トウゴクミツバツツジ** (var. *wadonum* Hats.) でこれは花柱に腺毛を有する点で他と容易に区別出来る。しかしコバノミツバツツジの内にも花柱と花梗に腺を有するものがあるからかならずしも決定的ではない。本変種は本州中北部に分布し白花品は**シロバナトウゴクミツバツツジ** (f. *leucanthum* Hara)

で箱根に知られている。

コバノミツバツツジ (*R. reticulatum* D. Don) この type は中井博士によると実在しないらしいので果してこの学名がよいかどうか不明であるがここではしばらくこの学名を用いることにする。本州中部から南は九州の霧島山まで分布する。花柱の中央部以下に長さ 2~3 mm の開出白毛を有する型は長野県から知られナギソミツバツツジ (*f. trichostylum* Mizushima) として区別されたがかかる現象はツクシアカツツジの場合は普通に見られるのでして区別しなくてもよいと思う。また花梗に剛毛の外に腺を有して粘り、花柱の中央部以下に乳房突起を有するものが肥後の天草島の念珠岳や倉岳にある。これを**ネバリコバノミツバツツジ** (*f. viscosum* Hats.) と称する。白花品は**シロバナコバノミツバツツジ** (*f. albiflorum* Mak.) で本州、四国に知られ、白と赤紫色の花を別々の枝につける品は**ゲンペイコバノミツバツツジ** (*f. versicolor* Hara) で丹波に知られている。また北九州産で葉の毛の少ない型はウスゲミツバツツジ (*var. glabrescens* Nakai et Hara), 葉の下面に毛が多く秋まで残る型はアラゲミツバツツジ (*var. ciliatum* Nak.) と称し愛知県以西九州まで分布することになっているが両変種とも中間型が多く区別しない方がよさそうである。

ダイセンミツバツツジ (*var. lagopus* Hats.) これは従来独立種とされていたがトウゴクミツバツツジとは花柱が無毛である以外区別点はなく、またサイゴクミツバツツジとは葉柄の毛が多い点以外ははっきりした区別点はない。従ってこれもコバノミツバツツジの一変種と考えたい。分布は本州中西部と四国。

サイゴクミツバツツジ (*var. nudipes* Hats.) これは葉柄が後に無毛またはやや無毛となるのが特徴と考えられていたが中にはおそくまで毛がかなり残りダイセンミツバツツジと区別出来ないものもある。葉の下面中肋下部に錆色の毛束を有するものが普通であるがこれも時とするとおぼろしいことがあり分類がむずかしくなる。サイゴクミツバツツジの葉の小さい型で肥前の黒髪山から温泉岳、五島の七岳に分布するものはヒメミツバツツジ (*var. gracilescens* Hara) として区別されることもあるが、格別区別しなくてもよいと思う。一般に本州中部産のものは九州のものに比べ葉が多少大きい傾向がある。

ツクシアカツツジ群 この群には従来ツクシアカツツジ、ジングウツツジ、アマギツツジの3種が知られ、花色、葉の下面中肋下部の毛束の有無によって区別されていたがいずれも種を分ける程の差異はない。従って今回ツクシアカツツジ一種を認め他はその変種とした。花柱下方の毛の有無は変化が多く格別変種または品種を分ける程のこともなさそうである。**ツクシアカツツジ** (*R. weyrichii* Max.) は肥前 (対馬, 平戸, 五島など), 肥後 (天草), 薩摩, 大隅, 日向, 豊後, 四国に知られ朝鮮の済州島にも知られている。ツツジの間では大木になり幹の直径 30 cm にもなり床柱用となる。**ジングウツツジ** (*var. sanctum* Hats.) は伊勢, 遠江, 三河に産し花色は濃桃色でツクシアカツツジ, アマギツツジのように赤色または赤紅色ではない。葉の下面中肋下部にはアマギツツジ同様錆色の毛束がある。

この白花品は**シロバナジングウツツジ** (*f. albiflorum* Sugimoto) で三河に知られている。**アマギツツジ** (*var. amagianum* Hats.) はツクシアカツツジとは葉の下面中肋下部に毛束がある点で区別されその分布は伊豆半島に限られている。

関東産のムサシミツバツツジ *Rh. tatuoi* Nakai ex Hara, Enum. Spermatophy. Jap. 1 (1949) 54 in adnot は標本を見たことはないが記載によるとミツバツツジに比べ雄蕊は 10 本, 子房は上部に微毛を有し, 葉の下面若枝, 葉柄, 小梗などに微毛が多い。ミツバツツジとトウゴクミツバツツジの雑種らしいとされているが恐らく雑種ではなくミツバツツジの一変形であろう。

Analytical key to the species, varieties and forms of *Rhododendron*:
sect. *Sciadorhodion* from Japan.

1. Leaves elliptic to obovate, 4-5 at end of branchlets.—1. *R. quinquefolium*
1. Leaves rhombic, 2-3 at end of branchlets.
2. Flowers appearing before the leaves, 3-4 cm. across, purplish or rarely white.
3. Ovary without hairs and viscid.
 4. Stamens 5, leaves glabrous and glandulous above.—2. *R. dilatatum* var. *dilatatum*
 4. Stamens 7-10 (rarely 5-6); leaves not glandulous above but with caducous long hairs.
 5. Leaves glaucous, with glandular hairs beneath.—*R. dilatatum* var. *glaucum*
 5. Leaves not glaucous, without glandular hairs beneath.
 6. Leaves larger (up to 6 cm. $\times$ 5 cm.), hirsute beneath or glabrous.
 7. Flowers purplish.—*R. dilatatum* var. *decandrum*
 7. Flowers white.—*R. dilatatum* var. *decandrum* f. *albiflorum*
 6. Leaves smaller (usually below 4 cm. $\times$ 3 cm.).—*R. dilatatum* var. *viscistylum*
3. Ovary either strigose or glandulous and more or less strigose.
4. Ovary strigose.
 5. Leaves glabrous or nearly glabrous beneath afterward.
 6. Ovary thinny strigose; petioles glabrous or sparsely pilose; peduncles sparsely hairy.
—*R. dilatatum* var. *kiyosumense*
 6. Ovary and peduncles densely strigose.
 7. Flowers purplish.—*R. dilatatum* var. *viscistylum* subv. *mayebarae*
 7. Flowers white.—*R. dilatatum* var. *viscistylum* subv. *mayebare* f. *leucanthum*
5. Leaves more or less hairy beneath afterward.
6. Leaves rufous or pale brownish tomentose on the lower part of midribs beneath.
 7. Styles with glandular hairs.
 8. Flowers purplish.—*R. reticulatum* var. *wadanum*
 8. Flowers white.—*R. reticulatum* var. *wadanum* f. *leucanthum*
 7. Styles glabrous or rarely papillous.
 8. Petioles glabrous or nearly glabrous afterward.—*R. reticulatum* var. *nudipes*
 8. Petioles hairy even afterward.—*R. reticulatum* var. *lagopus*
6. Leaves not tomentose on the lower part of midribs beneath; styles glabrous or rarely papillous.
 7. Flowers purplish.
 8. Peduncles viscid; styles papillous at lower half part.—*R. reticulatum* f. *viscosum*
 8. Peduncles without glands; styles glabrous.—3. *R. reticulatum* var. *reticulatum*
 7. Flowers white.—*R. reticulatum* f. *albiflorum*
 7. Flowers on some branchlet are white while other branchlets bear purplish flowers.
—*R. reticulatum* f. *versicolor*
4. Ovary glandulous and more or less strigose.
 5. Stamens 5; leaves glabrous and glandulous above.—*R. dilatatum* f. *lasiocarpum*
 5. Stamens 7-10; leaves not glandulous above.
 6. Leaves glabrous beneath, usually less than 4 cm. $\times$ 3 cm.
—*R. dilatatum* var. *viscistylum* f. *lasiocarpum*
 6. Leaves more or less hirsute beneath, usually larger (up to 6 cm. $\times$ 5 cm.).
—*R. dilatatum* var. *decandrum* f. *lasiocarpum*

2. Flowers appearing with the leaves or after the leaves are fully developed, 4-6 cm. across; stamens 10.
3. Leaves fuscous tomentose on the lower part of midribs beneath.
 4. Flowers red.—*R. weyrichii* var. *amagianum*
 4. Flowers not red.
 5. Flowers rose purple.—*R. weyrichii* var. *sanctum*
 5. Flowers white.—*R. weyrichii* var. *sanctum* f. *albiflorum*
3. Leaves not fuscous tomentose on the lower part of midribs beneath; flowers red.

—4. *R. weyrichii* var. *weyrichii*

1. ***Rhododendron quinquefolium*** Bisset et Moore in Journ. Bot. 15 (1877) 292-Nakai, Tr. & Shr. ed. 2 (1927) 108, f. 51-Hara, Enum. Sperm. Jap. 1 (1949) 50; Ohwi, Fl. Jap. ed. 2 (1965) 1032.
Hab. Honsyu and Shikoku.
2. ***Rhododendron dilatatum*** Miq. in Ann. Mus. Lugd. Bat. 1 (1863) 34; 2 (1866) 164; Nakai, l. c. (1927) 99, f. 45; Hara, l. c. 30; Ohwi, l. c. 1030.

var. ***dilatatum***

Rhododendron reticulatum f. *pentandrum* Wils., Monogr. Azalea (1921) 86; Rehd., Man. ed. 2 (1940) 716.

Hab. Hondo (Kanto to Kinki).

f. ***lasiocarpum*** (Koidz.) Hatusima, stat. nov.

Rhododendron dilatatum var. *lasiocarpum* Koidz. ex Hara, l. c. 30.

Hab. Hondo (Kansai)

var. ***decandrum*** Mak. in Bot. Mag. Tokyo 7 (1893) 134.

Rhododendron decandrum (Mak.) Mak. in Journ. Jap. Bot. 1 (1917) 21; Nakai, l. c. (1927) 92, f. 41; Hara, l. c. 29; Ohwi, l. c. 1030.

Rhododendron decandrum var. *pilosum* Hara, l. c. 29, syn. nov.

Hab. Hondo (Prov. Kii), Shikoku, E. Kyusyu.

f. ***albiflorum*** Honda in Bot. Mag. Tokyo 42 (1939) 334; Hara, l. c. 29.

Hab. Shikoku.

f. ***lasiocarpum*** Hara, l. c. 29.

Rhododendron inobeanum Honda in Bot. Mag. Tokyo 49 (1935) 498; Hara, l. c. 55; Ohwi, l. c. 1030.

Hab. Shikoku.

var. ***viscistylum*** (Nakai) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron viscistylum Nakai in Bot. Mag. Tokyo 49 (1935) 498; Hara, l. c. 55; Ohwi, l. c. 1030.

Hab. E. Kyusyu.

f. ***lasiocarpum*** Hatusima, f. nov.

Ovarium sparse strigosum.

Hab. Prov. Hyuga: Hori, alt. 300 m., Hatusima & Sako 25078 (type); Prov.

Ohsumi: Mt. Takakuma, T. Naito, July 25, 1933.

subv. ***mayebarae*** (Nak. et Hara) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron mayebarae Nakai et Hara in Journ. Jap. Bot. 11 (Dec. 1935) 825; Hara, l. c. 41; Ohwi, l. c. 1031.

Hab. E. Kyusyu.

f. ***leucanthum*** Hatusima, f. nov.

Flores albi, ovarium dense strigosum.

Hab. Kyushu: Prov. Higo: summit of Mt. Kurobaru, Kumagun, alt. 1000 m., Hatusima 21972 (type).

var. **glaucum** Hatusima, var. nov.

A *R. dilatatum* var. *viscistylum* differt foliis subtus glaucis et glanduloso-pilosis, perulis gemmarum valde viscosis.

Hab. Kyusyu: Prov. Hyuga: Mt. Osuzu, alt. 1100-1300 m., Sako 3348 (leafy type), 3252; near Mt. Sanbo in Exper. Forest of Kyusyu Univ. at Ohkochii, Shiibamura, alt. 1300 m., fls. pale pink, Hatusima & Sako 31427 (flowering type).

var. **kiyosumense** (Mak.) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron kiyosumense Mak. in Journ. Jap. Bot. 6 (1930) 18, pro syn.; Hara, l. c. 93; Ohwi, l. c. 1031.

Azalea kiyosumensis Mak., l. c. 6 (1930) 18.

Rhododendron shimidzuianum Honda ex Mak. et Nemoto, Fl. Jap. ed. 2 (1931) 890.

Hab. Hondo (Prov. Awa to Prov. Kii).

3. ***Rhododendron reticulatum*** D. Don ex G. Don, Gen. Syst. 3 (1834) 846; Nakai, l. c. (1927) 90, f. 40; Hara, l. c. 51; Ohwi, l. c. 1032.

var. **reticulatum**

Rhododendron rhombicum Miq. Ann. Mus. Lugd. Bat. 2 (1866) 164 p.p.

Azalea reticulata (D. Don) K. Koch, Dendr. 2 (1872) 179 p.p.

Azalea rhombea (Miq.) O. K., Rev. Gen. Pl. 2 (1891) 387.

Rhododendron reticulatum var. *ciliatum* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 40 (1926) 486; Tr. & Shr. ed. 2 (1927) 92; Hara, l. c. 51.

Rhododendron reticulatum var. *glabrescens* Nakai et Hara in Journ. Jap. Bot. 11 (1935) 824.

Rhododendron reticulatum f. *trichostylum* Mizushima ex Okuhara in Journ. Jap. Bot. 36 (1961) 93, cum fig., syn. nov.

Hab. Prov. Shinano to S. Kyusyu.

f. **albiflorum** (Mak.) Mak. Ill. Fl. Nipp. (1940) 253, in textu; Hara, l. c. 51.

Rhododendron rhombicum var. *albiflorum* Mak. in Bot. Mag. Tokyo 18 (1904) 66.

Rhododendron reticulatum var. *albiflorum* (Mak.) Wils., Monog. Azalea (1921) 86.

Hab. Hondo (Prov. Kii), Shikoku.

f. **versicolor** (Nakai) Hara, l. c. 51.

Rhododendron reticulatum var. *versicolor* Nakai in Journ. Jap. Bot. 15 (1939) 535.

f. **viscosum** Hatusima, f. nov.

A typo differt, pedunculis glandis commixtis et viscosis, styli infra medium papilloso.

Hab. Kyusyu: Prov. Higo: Mt. Kuradake, Isl. Amakusa, alt. 400 m., Hatusima 29548 A (type), Mt. Nenju-dake, Isl. Amakusa, alt. 200 m., Hatusima 29582.

var. **wadanum** (Mak.) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron wadanum Mak. in Journ. Jap. Bot. 1 (1917) 21; Nakai, l. c. (1927) 94, f. 42; Hara, l. c. 55; Ohwi, l. c. 1032.

Hab. Middle and northern Honsyu

var. **lagopus** (Nak.) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron lagopus Nakai in Bot. Mag. Tokyo 40 (1926); Tr. & Shr. ed. 2 (1927) 103, f. 48; Hara, l. c. 39; Ohwi, l. c. 1032

Rhododendron wadanum var. *lagopus* Hara, l. c., pro syn.

Hab. Middle and western Honsyu and Shikoku.

f. **leucanthum** (Mak.) Hara, l. c. 56

Rhododendron wadanum var. *leucanthum* Mak. in Journ. Jap. Bot. **3** (1926) 11.

Hab. Hondo (Hakone).

var. **nudipes** (Nak.) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron nudipes Nakai in Bot. Mag. Tokyo **40** (1926) 484; Tr. & Shr. ed. 2 (1927) 104, f. 49; Hara, l. c. 46; Ohwi, l. c. 1031.

Rhododendron nagasakianum Nakai, l. c. (1926) 484; l. c. (1927) 101, f. 46, excl. fr.

Rhododendron nagasakianum var. *gracilescens* Nakai, l. c. (1926) 485; l. c. (1927) 102, f. 47.

Rhododendron nudipes var. *gracilescens* (Nak.) Hara, l. c. 46.

Hab. Northern Hondo to Isl. Yakushima, Kyusyu.

4. **Rhododendron weyrichii** Maxim., Rhodod. As. Or. (1870) 26, t. 2, f. 1-6; Nakai, Tr. & Shr. ed. 2 (1927) 96, f. 43; Hara, l. c. 56; Ohwi, l. c. 1030.

var. **weyrichii**

Azalea weyrichii (Maxim.) O. K., Rev. Gen. Pl. **2** (1891) 387.

Rhododendron shikokianum Mak. in Bot. Mag. Tokyo **9** (1895) 111, nomen; Nakai in Bot. Mag. Tokyo **40** (1926) 486; Tr. & Shr. ed. 2 (1927) 97, f. 44.

Rhododendron weyrichii var. *psilostylum* Nakai in Bot. Mag. Tokyo **40** (1926) 487; Hara, l. c. 56.

Rhododendron weyrichii var. *nudistemon* Koidz. in Act. Phy. Geo. **7** (1938) 122.

Hab. Kyusyu, Shikoku, Honsyu (Prov. Kii), Corea (Isl. Quelpaert).

var. **sanctum** (Nakai) Hatusima, comb. et stat. nov.

Rhododendron sanctum Nakai in Bot. Mag. Tokyo **46** (1932) 630; Hara, l. c. 52; Ohwi, l. c. 1031.

Rhododendron sanctum var. *lasiogynum* Nakai ex Hara, l. c. 52, syn. nov.

Hab. Hondo (Prov. Ise, Prov. Shima, Prov. Totomi).

f. **albiflorum** Sugimoto, New Keys Jap. Trees ed. 2 (1965) 380, nomen.

Flores albi.

Hab. Shibukawa, Prov. Totomi, Pref. Shizuoka.

var. **amagianum** (Mak.) Hatusima, comb. et stat. nov.

Azalea amagiana Mak. in Journ. Jap. Bot. **7** (1931) 21

Rhododendron amagianum Mak., l. c., pro syn.; Hara, l. c. 52; Ohwi, l. c. 1031

Hab. Hondo (Prov. Izu).